

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	サクスクリエーション 合同会社	代表者	高橋 清彦	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能の他に居宅介護支援、地域密着型通所介護、訪問介護、障害者相談支援、有料老人ホーム、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所があり、令和3年4月からは定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスも開始。幼児からお年寄りまで様々な交流に向けて、多機能性ある柔軟な支援をし、利用者の生きる力を広げ生活そのものを支援し、地域との関わりを大切にする。また、施設併設のカフェやアリオガト書店など地域の方々にも気軽に利用して頂けるスペースもあり、更に繋がりを広げる取り組みをしている。
事業所名	サクス小規模多機能型 居宅介護やすらぎ	管理者	中島 佳太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	1人	人	5人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み-結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価前の事前研修は継続し、より評価基準に対する理解を深め、できているという評価にもっていけるよう全職員で底上げを図る それぞれの職員の目標を明確化し、一人で進めるのではなく定期面談等用いて進捗状況、困っている事など聞き取りしながら達成に向けて取り組む 運営推進会議で利用者ニーズに対しての具体的な支援内容や結果を事例を通して報告させて頂く 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価前の事前研修の計画をしっかりと立てる事ができておらず実施できなかった。 サクス全職員が職業能力評価表で自己評価し課題を洗い出した 定期面談を実施して職員のフォローをした 運営推進会議には「ハッピーハット」のタイトルで事例を掲載しお知らせした 	<ul style="list-style-type: none"> 前回できなかった事に対して計画的に真剣に改善しようとして取り組んでいるのが分かりました 具体的な計画が立てられていて1つずつ確実に取り組んで頂いている様子が分かりました 利用者の軒下マップができる地域との繋がりなどが、職員間で共有しやすくなると思うので進めて頂けるといいなと考えてます 日々努力をして改善計画などを具体的に立てるなど事業所全体で取り組んでいる姿勢が良くわかります。全項目に言える事と思います 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が地域で生活をする事ができるように人間関係や地域資源、社会資源を知り、利用者の軒下マップを担当チームが主になり作成し、標準的な資料として活用していく 自己評価前の事前研修は年間の研修に位置付け、研修を実施する。その他にも制度に関する研修(生活保護・成年後見制度)、権利擁護・プライバシー保護・個人情報の保護に関する研修等も計画し職員のスキルアップを図る ハッピーハットが多くなると職員のモチベーションも上がるので、引き続きハッピーハットに視点を置き取り組む
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な施設内外の環境整備 今後もコロナ感染予防対策の環境を整えながらも季節感・生活感を取り入れ居心地が良く安全に過ごして頂ける環境 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な環境整備を行った 施設内床ワックス掛け 年/1回 風呂掃除(カビ取り等) 月/2回 施設外草刈り 年/1回 年末大掃除(施設内外) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所に立ち寄りやすい環境と感染対策とでご苦労されていると思いますが地域の方が頼りに立ち寄れる環境の継続をお願いします 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活の場で仕事をさせて頂いているという気持ちを忘れず接遇を心掛け安心して過ごして頂ける環境づくりを目指す

	<p>づくりを継続していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々にも実際の活動風景や実施している環境整備の内容の見える化を工夫する（プライバシーの事もあるので遠目から写真を取り記録に残す） 	<p>施設内消毒と換気 毎日／4回（10時・12時・15時・18時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備は計画通り行えたが写真を撮るなどの記録を残すという事までには至らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境的に分かりやすい場所にある、一方事業拡大に伴い、物の置くスペースの数（整理）に課題ありかなと考えてます ・事業所内の雰囲気はとても良いと思います玄関に入った時の受付の方の印象は大事だと思います ・有料のホームを利用させている家族の部屋が職員の方によって、とてもきれいに整理してくれてあるので安心しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品等の把握と管理を行う（備品台帳等で管理） ・定期的な施設内外の環境整備を継続して行う（整理整頓） ・新型コロナ感染予防対策を整えた環境作りを継続して行う
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所長、主任にも協力を仰ぎ地域のイベント・行事（伊夜比古神社の祭りなど）に参加しコミュニケーションを深め、人間関係を築いていく ・一事業所としてではなくサンクスという1軒の家族として地域と関わり親密になり頼れる存在を今後も目指す ・回覧等を使い、サンクスの事を宣伝させて頂き、地域の方々にもっと知って頂く（カフェ・書店・年間行事計画など） ・地域のイベントや行事に出向き出張よろず相談所を開催させて頂く ・来年度はサンクスでのイベントや勉強会の開催もできるように予防対策を万全にした開 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も行事縮小に伴い地域の行事に参加する事はなかった ・今年度、地区の回覧板で事業所の活動やお知らせをする事ができなかった ・コロナ感染予防対策のため、地域の方を集めたイベント・勉強会・会議の開催は控える事となった 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で行事への参加が難しいという課題があるかと思えます ・職員の方々が対応が早くとても熱心だと思います ・先日、穂高の中央図書館に利用者の作品の展示がされており、事業所の紹介や利用者様の頑張りも広く見て頂く取り組みがされているなど感じました ・事業所のスタッフが地域の行事やイベントに参加するという事は少し抵抗があるのではないのでしょうか？ ・区で行っている美化活動に参加したらどうか ・毎月行っているクリニックの看護師に「カフェはやっていますか？」と聞かれました、コロナで閉まっている事が多いと思いますが、開くのを楽しみに待っている人がいるん 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と一緒に行える地域活動 計画 例えば「散歩をしながらゴミ拾い」「散歩をしながら回覧板と一緒に届ける」など「サンクス」という一軒の家族として地域と関わっていく ・地域の方々にサンクスの情報や活動状況を知って頂くために情報発信の方法として回覧板の活用を再度試みてみる ・広報担当は分担制にして2ヶ月に1回広報誌発行していく ・定期で開催されている環境美化運動は引き続き参加させて頂き、他の地域行事については新型コロナ感染蔓延防止の観点等から開催の可否について可能であれば参加させて頂く ・特に有料に入所されている利用者が楽しめる事を計画し実施していく

	催方法を検討し実施する		だなぁと思いました	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議等で利用者・家族に地域との関わりについてのニーズを確認し把握するその思いに沿って具体的な支援の計画をし実行していく ・運営推進会議で地域との関わりに対してのニーズがある方や必要な場合の方の事例報告をさせて頂いたり、必要でない方などに対しての関わりかたは地域の方々にもアドバイス頂きながら取り組んで行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議や日々関りを持つ中で、地域との関りについて確認した。ご家庭ごとに関り方が違い、その家庭に合わせた支援を行う事ができた ※「一人暮らしの方」に対して地域、近所の方はとても気にされている、ご近所から行政への連絡もされていたり、民生委員の方々の関りがとても大きいと感じるケースがあった、今後更に小規模多機能と民生委員の方々、行政との日々の連携が大事になった 	<ul style="list-style-type: none"> ・閉じ込めについて、改善や状況の分析が必要かと思います ・オレンジカフェの取組等、継続して頂ければと思います ・コロナの関係で今はなかなか難しいと思います終息したらまた取り組んで頂ければと思います ・包括が抱えている課題についても自分のことのように関心を示して頂き感謝しております ・事業所の利用者以外の方、心配な方に出向いて具体的な支援をするという事はできる事でしょうか？事業所内の利用者の支援で精一杯ではないでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人の地域での暮らしのニーズを把握し柔軟な支援ができるように職員の人員配置・実施日時、具体的支援内容を事前に計画して実行していく（その時のコロナの状況でできる事も限られるかもしれないが上司と相談しながら状況に応じた最善の支援を行う） ・利用者以外のご近所の心配な方の支援は小規模多機能だけではできない事であり、今後も地域包括支援センター・民生委員の方々・地域住民の方々とネットワークを作りながら取り組んでいく
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模の強み（特徴）を知って頂く為に他のサービスとの比較事例を寸劇動画などで分かりやすく説明できる工夫をする ・サンクスでのイベントや行事の開催にあたって、行ってみたくなるようなアイデアなど様々な意見を地域の方にお聞きしながら形にしていく ・看護、介護職員も会議に参加し日頃の話しをさせて頂いたり、写真や映像を見たりし 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止の観点から会議が書面開催になった事もあり前回の改善計画は達成できなかったが報告書の内容を工夫すればできる事もあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の心配な方の事例検討はどういった内容で行っているのか知りたいと思います ・運営推進会議がきっかけになり防災の協力体制につながったり事例の検討もされており、会議を地域とのかかわりに活用されていると思います、この会議の内容を職員さんへも共有して頂くと職員さんの取組意識が少し違うかもしれません ・運営推進会議に出席し、事業所の取組内容が理解できます 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止の観点から会議は今後も書面開催が予想されるので小規模多機能についての説明や看護・介護職員からの利用者の様子や活動状況の報告（写真なども添付する）地域の皆さんに相談したい事などを記載して報告書の内容を工夫していく ・全体ミーティングで運営推進会議の内容を職員間でも共有して事業所全体で取り組んでいける環境をつくる

	<p>ながら日常の様子を知って頂く工夫をする</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域と一体となり取り組まれている姿勢が理解できました ・地域の方の意見を聞くことで少しでも事業所を運営して行く助けになればいいのではないのでしょうか 	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画や取り組みの内容を知って頂く為に訓練の様子の写真など見ながら解説させて頂いたり、地域との合同避難訓練を計画し、実際に参加してもらい連携をとりながら知って頂く ・備蓄品のリスト作成や、避難場所としての具体的な計画内容などを地域の方にも情報共感させて頂き頼りになる事業所を目指す ・保健所に助言頂いた内容を取り入れた感染予防対策を事業所全体で継続していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施記録書は作成しているが、撮影担当の人員の確保ができておらず写真・動画などの記録を残すことができなかった、運営推進会議の報告書に訓練の具体的な実施内容の掲載ができていなかった ・会社全体の備品リストの作成はしてあるが小規模・有料のリストは作成していなかった ・11月の運営推進会議で地域との合同避難訓練の件を議題とした、その結果富田地区とサックスの間で防災協定を結ぶ事ができた ・保健所に感染予防対策の助言をもらった内容を実施する事ができた <p>手洗い・うがいをする時、洗面台は一人ずつ使用する 手拭きペーパーは壁掛けにして衛生面に配慮する 次亜塩素酸消毒液を使った床掃除とテーブル・手すり・ドアノブの定時の消毒 定時の換気 テーブル・座席配置の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・災害対策はコロナの関係で難しかったでしょうか、コロナ禍でも実施可能な内容の検討も必要かと思っています ・非常災害に感染予防も取り入れ、計画を進めて頂きたいと思いますが「運営」の項目で有事の際の地域との協力が進んでいるが職員の評価にできていない、あまりできていないの声が多いので情報共有を進めて頂ければと思います ・防災は大事な事ですが、日々の忙しさに追われたりすると準備を怠りがちになってしまうものですが、毎回こうやってチェックして頂いてるので家族としては安心です ・いざという時には「それぞれがまず自分の身を守る」というふうになってしまうのでサックスさんが普段からしっかり防災に取り組んで頂いているので良かったと思いますこれからもよろしくお願ひします 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の際は撮影担当者も配置して撮影を行う、実施内容の記録と写真でも記録を残し、情報の提示と保管を徹底して行う ・小規模・有料の備品リストを作成する 【医療品】 血圧計・体温計・サチュレーション・その他 【介護品】 排泄用品関連・ポータブルトイレ・バケツ・その他 【食事関係】 缶詰・レトルト食品・水（利用者各居室に保管） ・事業所内でできる感染予防対策を今後も継続していく